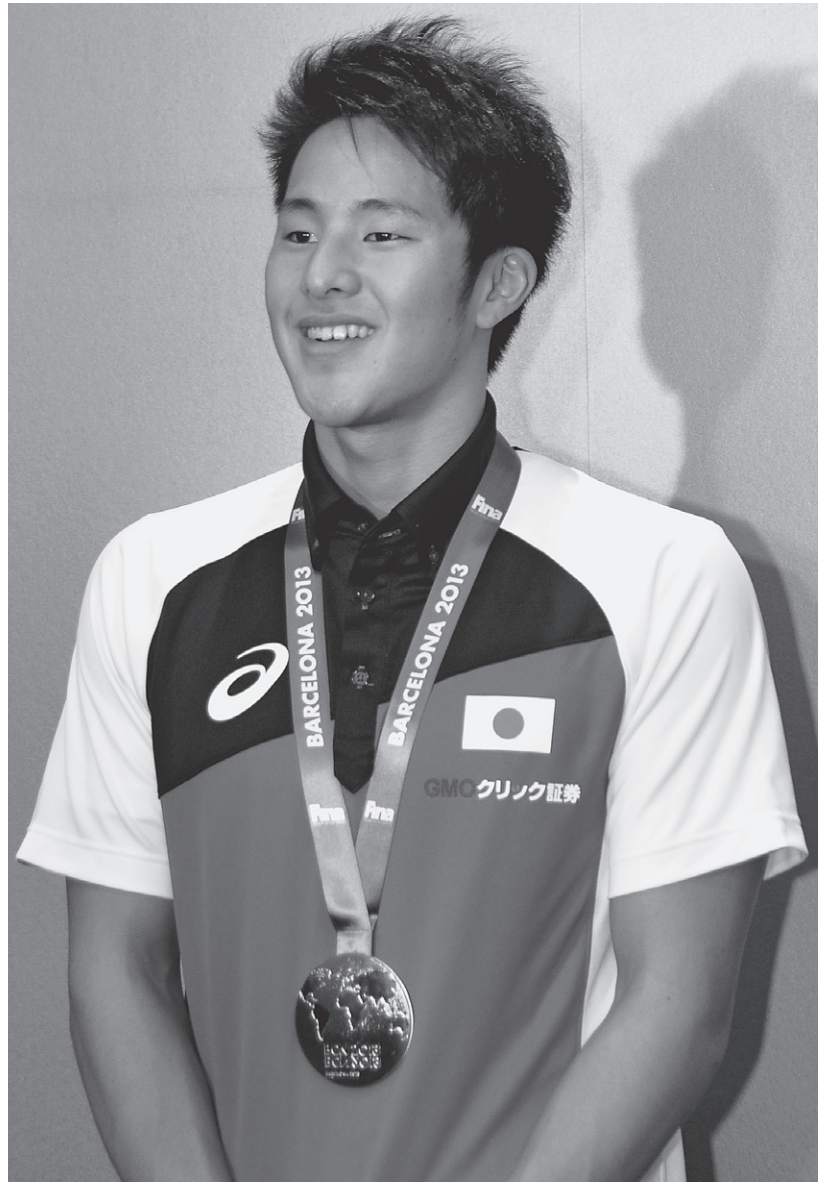




# 瀬戸大也選手

(毛呂山中学校出身)

## 祝 金メダル



### 日本人選手初の快挙!

スペインのバルセロナで開催された「第15回世界水泳選手権大会」に出場した瀬戸大也選手（JSS毛呂山）は、8月4日に行われた400メートル個人メドレー決勝において、4分8秒69のタイムで優勝しました。400メートル個人メドレーとは、バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、自由形の4つの泳法で各100メートルを泳ぐ競技です。水泳の個人メドレーにおいて日本人選手がオリンピックおよび世界選手権で金メダルを獲得することは初めてのことです。瀬戸選手はまさに快挙を成し遂げたといえます。

### 空港に大勢の出迎え

世界選手権の後、短水路のワールドカップに出場し、オランダ、ドイツと転戦した瀬戸選手は、8月13日に帰国しました。空港に到着した瀬戸選手を地元平山地区の人たちなど、毛呂山町から約40人が出迎えました。

### 自分の可能性を信じて

帰国後すぐに行われた会見で瀬戸選手は、町民の人たちが出迎えたことに対し「たくさんの方が空港まで迎えに来てくれて、すごく嬉しかった」と笑顔で答えていました。金メダルを獲得したことは「実感がなく、まだ信じられない」と話していましたが、今後については「日本記録が出せるように自分の可能性を信じて頑張っていきたい」と力強く語っていました。そして、町民の皆さんに対して「いつも応援していただきありがとうございます。今回世界選手権で優勝できたことは、すごく嬉しく思っています。今後頑張りますので、応援よろしくお願いします」と答えてくれました。



帰国の出迎えをした平山地区の皆さん